



## テクニカルデータシート

### ポリガラス 320 (POLYGLASS 320 RESIN)

#### 浴室仕上げ用トップコート

#### 概要

ポリガラス 320 は、浴室及び台所環境における用途に特化して開発された、環境に優しいタイプの 2 液アクリルウレタントップコートです。VOC の含有量が少なく、硬化が早いため、作業者にも依頼者にも喜ばれる製品となっています。使い勝手が良く、白、着色、透明の仕上がりが可能です。

#### 研究データ

#### 典型的な性状

外観	半透明の液体
比重	1.31
引火点	4.4℃
NV(ノンボラ)値 [典型]	61%
VOC	212.3g/L
推奨膜厚で塗布した場合の 1L あたりの塗装面積	5~6 m <sup>2</sup> /L
総膜厚 [乾燥]	63.5~89μ

#### 塗布方法

平均的なサイズ(1200、約 3.3 m<sup>2</sup>)の浴槽の場合、ポリガラス 320 の主剤 300cc と硬化剤 150cc を混合(容量比)し、スプレーで塗布することができるよう、ナプコ 320 シンナーを 150 cc で希釈します。1 回目の足付けは薄く塗布し、その後、2 回、厚く塗布します。塗布が 1 回完了するたびに、時間をおいて様子を観察してください。2 回目、3 回目は、前回の塗膜が指触乾燥状態になってから行います。ポリガラス 320 は室温が 25℃、湿度が 50%の環境では、8 分で指触乾燥状態となります。3 回目の塗布が終了してから 30~40 分後に養生を除去し、コーキングを打つことが可能です。

## 下地処理

ポリガラス 320 は、塗装面の素材にあうプライマーを塗布した後、トップコートとして塗布する。塗装面がFRPの場合は、研磨(~ #150)後、ポリクリーナーで洗浄し、よく乾燥させた後、直接塗布することが可能です。

## 温度/湿度の考慮事項

性能を最大限に発揮させるための推奨温度は 20~26℃です。通常、30℃を超える環境で使用すると、ポットライフの短縮と光沢の低下が生じ、場合によっては粉っぽくザラザラとした外観の「ドライスプレー」という状態に仕上がってしまうことがあります。一方、10℃前後では、硬化と指触乾燥に要する時間が 3 倍に延長されます(30℃を超える場合は、遅延剤を使用)。

## 注意事項

ご使用前に安全データシートをお読みください。Napco ポリガラス 320 を主剤とする混合剤は、20~40 秒間、よく混ぜてからご使用ください。主剤、硬化剤、シンナーはどれも 10~30℃の屋内で保存する必要があり、通常、2:1:1 の比率で混合します。保存期限は 1 年です。硬化剤は特に湿気に弱いので、使用時以外は、容器の蓋を常に閉めておいてください。主剤の粘度は 10℃では 25℃の場合の 2 倍以上となります(そのため、適切にスプレーするにはシンナーがより多く必要となり、塗膜の指触乾燥及び硬化に要する時間が更に延長されると考えられます)。一方、高温(30℃以上)で保存した場合、主剤の粘度は顕著に低下し、混合剤からのシンナーの蒸発が加速する結果、乾燥が過剰に速く進み、光沢の低下や粉っぽい仕上がりになる場合があります。高温によってポットライフが短縮すると、混合剤の使用可能時間が激減し、塗料がポット内でゲル化してしまう場合さえあります。

## 保管

主剤、硬化剤、シンナーはすべて、10~30℃の屋内で保管してください。未開封状態での保存期限は 1 年です。硬化剤は特に湿気に弱いので、容器の蓋は常に閉める。

## 使用可能な添加剤

ガラスフレーク	~5%
はじき止め	浴槽 1 据につき 2~3 滴
プロヒージョン	~3%
着色剤	希望する色に必要な量
芳香剤	浴槽 1 台につき 2~3 滴
遅延剤	ラベルを参照
滑り止め添加剤	ラベルを参照